



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

R.I 会長 クレム・レスーフ

第 29 回 例会 1979年 1 月 18 日 (木) 雨 第35号

出席報告

会 員 数	出 席 数	出 席 率	前回の修正
26 名	24 名	100 %	100 %
欠 席 者			

矢野会長テーマ 友情の輪をひろげよう

司 会 蜂 屋 副 会 長

ゲ ス ト

熊谷和夫氏 (海上自衛隊厚木航空基地 第4航空
郡司令部二等海佐), 星 幸男特別代表

ビ ジ タ ー

上坂信夫君 (東京港南), 岡上正夫君 (東京国分
寺), 青木広吉君, 岩田 章君 (大和)

会 長 報 告

蜂屋副会長代行

- 先週の例会後、定例理事・役員会を行いました。その際チャーターナイトの実行委員会の編成を行いました。従って準備小委員会は解散となります。すでに案内状の発送準備、クラブ訪問の日程等進んでおりますが、各担当それぞれよろしくお願い致します。
- 病気で欠席中の小笠原会員より退会の申し出があり、理事会で検討の結果承認致しました。理事に欠員が出来ました事、又社会奉仕委員長が空席になりますが、下半期は欠員、空席のまま運営致すことになりました。
- 次はうれしい報告ですが、1月4日に申し上げ

ました、猪熊会員のご紹介で石渡英二郎君が入会されました。石渡君は大和東3丁目で鮎忠大和店の代表取締役です。職業分類は和風レストラン、所属は親睦委員会です。

猪熊唯夫君

たゞ今副会長からご紹介ありました石渡君です。私同様、よろしくご指導下さい。

石渡英二郎君

皆さんよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

理事会関係報告

- 例会場の変更。2月1日は市制記念日で当会館が休館の為、例会々場は八千代信用金庫大和支店の4階会議室にて行います。尚例会場の出入口は裏口を、又駐車場は従来通り青少年会館の駐車場をご利用下さるようお願い致します。
- チャーターナイトの為の特別負担金を願います

本日のプログラム (1月21日)

第2回 家 族 会

次週予定 (2月1日)

ゲストスピーカー 小堀憲助氏 (川崎RC)

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事 務 所 : 大和市中央1-5-40
及 び 大和市商工会館内
例 会 場 電話0462(63)7926

例 会 日 : 毎週木曜日12時30分より
会 長 : 矢野久元 副 会 長 : 蜂屋良平
幹 事 : 長谷川清一 会 報 委 員 : 土屋・郡司

ることになりました。負担額は会員1人当り、20,000円です。納入の詳細は会費納入後にお願ひしたいと思います。

一般事項報告

1. 1月21日(日)、家族会が行なわれますので、1月25日(木)の例会は休会になります。
2. 泰野中RCよりチャーターナイトの仮登録の案内が届きましたので、その写しをお配りしました。
3. 下半期の会費の未納の方は、できるだけ早く納入をお願いします。
4. ガバナー公式訪問の際の記念写真が出来ましたので配布します。代金は300円、土屋会員までお支払い下さい。

委員会報告

親睦活動委員会

- 21日の家族会の件ですが、観覧席が2階で席も飛んでおります。席順についてご相談致したいのですが如何ですか……？(委員長一任の声があり)ではお任せねがいます。
- 本日は次の方々のお祝がございませう。

お誕生日	鈴木久次郎君 (1月21日)
	上田 利久君 (1月23日)
御夫人お誕生日	伊藤英夫君 克枝夫人
	(1月23日)
	上田利久君 郁代夫人
	(1月23日)
結婚記念日	藤田重成君 (1月21日)

チャーターナイト実行委員会から

C.Nの実行委員会が結成され、第一回の会議が例会後行なわれた。(出席は各委員長)

- ①記録について＝8ミリ映画の撮影と記念アルバムの作成。具体的には後日資料を収集して再検討。
- ②タスキ、名札、胸花の件＝確認。
- ③終了後の答礼宴について＝後日検討。
- ④クラブ訪問時の挨拶文について＝委員長一任
- ⑤各委員会の予算について＝確認。

卓 話

「厚木基地の概要」

ゲストスピーカー

海上自衛隊第4航空群首席幕僚 熊谷和夫氏

紹介：蜂屋副会長

本日は海上自衛隊厚木航空基地より熊谷氏においで頂きまして厚木基地についてお話を伺います。これは来る4月22日の認証状伝達式の際記念講演としてお願いに上りましたところ、事前に皆様に内容を知っていた方が良からうという事で本日来ていただきました。

熊谷和夫氏

只今ご紹介頂きました熊谷でございます。

本日はこの様な席にお招き頂き、お話が出来ます事光栄に存じます。先程蜂屋さんからもお話がありました。4月22日に私共でお手伝いさせていただきますが、本日は話の内容を一応お聞き頂き、その後皆様のご意見を伺いたく存じます。

内要は厚木基地の概要という事で、こゝにスライドを持って参りましたので、これを使いご説明申し上げます。

厚木基地は正式には「海上自衛隊厚木航空基地」と称し第4航空群が配備されております。

昭和16年に海軍航空隊が出来、終戦と共に米軍が管理する様になり、昭和46年7月1日、日本に一部返還され、自衛隊で管理する様になりました。日米安保条約により、飛行場は日本側、その他の施設は米軍が管理、又共同管理区域となっております。現在共同使用は大変うまくいっています。

厚木基地の任務ですが、主に対潜水艦の為の基地で航空機も対潜哨戒機が主力です。主なものとしてP₂J, P₂V, PS-1, S₂F, YS-11, 等々が配備されています。私共の任務は従って海上監視の為に皆様に余り知られておりません。航空機の発着は米軍関係が6に自衛隊が4の割合です。隊員は全部で1,400人程居ります。

(お話は大変詳しくされたのですが、スライドを使用されたため、十分に紙上で表現出来ない事お詫び申し上げます。 会報委員) --

会員紹介

今

週

の



辻 会員

今号から創立後入会された方々を、入会順にご紹介して参ります。

入会第一号として昨年7月27日にメンバーに加入した辻国明会員が今週の顔です。

辻 国明（つじくにあき）昭和9年2月11日、紀元節、現在の建国記念日に、横浜市中区千代崎町の料亭の次男として生まれ、同17年（小学校3年の時）に山梨県へ疎開、その後集団疎開で箱根強羅へと移る。

横浜がB-29の空襲を受けた時、明神岳から黒煙が上り、それを見て子供ながらに大泣きをしたという。

27年、神奈川県立神奈川工業高校電気通信科を卒業、明大工学部に入學するも、経済的理由から本人不本意乍ら断念したが、現在後悔はしていないそうです。卒業後は当時としては最も賃金の高かったジャパンセントラルエクスチェンジ統計局電気計算課に就職、コンピューターの草分け的存在だったという。

昭和48年現在の株日本コンピューターユーセイジを設立、電算室の運営、管理を行う会社である。

皆さんよくご存知の通り、入会以後親睦委員として、家族会をはじめ、あらゆる機会を通じて持ち前の愉快的ジョークを駆使し、会の良い雰囲気作りに大いに活躍されています。

—ロータリークラブについてご存知でしたか？

「息子がボーイスカウトに入団した関係から、大和第2団副団委員長、団委員長、現在育成会長をしております。私が団委員長の時RCから青少年育成資金を戴きましたが、その時星特別代表が

RCの会長であり、又小武直前会長もボーイスカウトの元育成会長で、そんな事から折にふれ聞かされて来ました。レベルの高い組織集団であり、企業人として、地域社会においても評価されている人達の集りだと思っておりました。」

—入会されてみて……？

「各自個性がありますが、心技的には相当の格差があることが分り、ある面で大いに楽しみです。」

—これまで例会に出席されてのご感想を……？

「住いは区域限界内で、事業所が区域外ですので、推せん者が一番悩んだと思います。現実にはガバナー公式訪問時、仕事の都合で遅れました。なるべく例会日には通常より早く出社し、遅刻しない様努力しているつもりですが……。例会そのものは規定時間内もさることながら、前後30分が私としては最も大切にしたい。必然的に例会も楽しくなると思います。

私は当初から誰よりも楽しく、有意義に過ごさせて頂いています。楽しまなければソンです。会費が無駄です。」

—RCに望むことがありますか……？

「会社では理念の一つとして“企業と社員が一体となって燃える集団”となる事を目指しております。大和RCも全会員が一体となって“燃える集団”となり、各々委員が業務遂行のため常に、積極的に全力を投球する姿勢を持つこと。これを支えるために、和、明るさ、勇気は不可欠と思います。しかし現実には遠く及ばない面が多くあります。人間は最も基本的に大切な挨拶が出来ないこと、されざる的ではいけない。私も基本的マナーから人間形成に至る迄、ロータリーを通じて実践してゆきたいと思います。」

「私の好きな言葉は“四海兄弟”です」と語る辻さん、とにかく大和RCの潤滑油的存在です。ご趣味はゴルフ、テニスなどスポーツならなんでも好きときく。大和RCにテニス、ソフトボール等の同好会を作りたいとおっしゃる。未来のガバナーを目標に頑張る辻さん。これからもよろしく。
(土屋会報委員)

ロータリー情報

目先のことにとらわれず後々のことまで考えよ

1977年のイタリーでのロータリー地域研究会におけるスピーチで、現R.I.会長のクレム・レヌフ氏は、故国オーストラリアにおける、鉱物資源発見のための長年にわたる努力について述べた後、その努力をロータリーにおける社会奉仕活動と比較して次のように語った：「200年もの間われわれオーストラリア人は地表からわずか18インチの深さの土地を耕して満足していた、そしてその18インチの深さのところから何が得られるかという観点からわが国の潜在資源を評価してきた。つまり、われわれはもっと深く掘り起こすべきであったときに、相変わらず18インチの深さのところを耕すことに明け暮れていたわけである……これはそのまゝそっくりロータリーに通用することではないでしょうか？ われわれロータリアンは、ともすれば、地表から18インチの深さまでしか耕さないのではないのでしょうか……つまり、はっきりとわかるような努力、たとえば、誰の目にも見えるような社会奉仕事業しかもわれわれの努力が直ちに具体的に報われるような奉仕事業に取り組む傾向があるのではないのでしょうか？ さあ皆さん、われわれロータリアンは、もっと深く掘り起こすべきときに、徒らに同じ所を耕すような誤ちを犯さないようにしましょう。後々の世代のことまで考えましょう、なぜならわれわれはロータリーの将来を築く上で協力すべき責任があり、またそういう機会に恵まれているのですから。」

ロータリー創立75周年……1980年2月

ロータリアンの創立75周年記念プログラムへの参加は、広く地元地域社会全体にとって、また参加するロータリアンにとっても、必ず得るところがあるはずである。ロータリアンは、参加することによって、自分が世界的な組織体の一員であること、そして自分たちのプロジェクトは一連の奉仕活動の鎖に加えられる一つの環であるということであらたに思い起こすのである。このような再認識によって、ロータリアンは他の人々を助け

ようと更に奮起するようになるのである。同様に地元地域社会の人々もまた、間もなく迎える創立75周年を記念して行なわれるロータリアンの活動を通じて利益を得るのみならず、「超我の奉仕」の理想を目のあたりに示されて、ロータリーに対する理解、認識を深めることができよう。こうした地域住民のロータリーに対する理解、認識が、ひいては、われわれロータリアンにとって、効果的な創立記念プロジェクトをより円滑に、容易に遂行しうる結果をもたらすことになるだろう。

スマイルBOX

東京国分寺RC 岡上会員、度々御世話になります。

大和RC 青木広会員、本年始めて出席させて頂きました。今後共よろしく。

蜂屋会員、第6回のクラブ協議会も無事終了まして、皆様の御協力を感謝致します。

上田会員、誕生日祝、お祝いを感謝致します。お陰様でこの件について夫婦でケンカをした事はありません。上には上で亀谷さんには脱帽（注：亀谷会員はご本人、ご夫人お子さんと三人のお誕生日が同じ日です）

藤田会員、結婚記念日祝。結婚も30年になるとすっかり忘れ、会場で初めて知らされびっくりしました。今日家で古女房と昔を思い出し乍らのんびり食事でもと思います。

伊藤会員、家内の誕生日祝ありがとうございます。

鈴木会員、娘がやっと自動車の免許を取りました。夜の運転手が出来たのでよろこんでおります。

誕生日祝ありがとうございます。今後共よろしく願います。

地元での奉仕プロジェクトの選定にお迷いなら、先ず地元地域社会の調査を始められては如何！

